

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373400486
事業所名	グループホーム せんじゅ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	地域ボランティアの協力で民謡、フラダンス、踊り等の訪問があり、最近交流の始まったハンド・フットマッサージはとても人気がある。また、児童館の子供たちの訪問と交流は利用者がとても楽しみにしており、よい刺激となっている。開設当初から立ち寄る喫茶店は、認知症のことも理解して受け入れてもらえ、利用者はおしゃべりを楽しみ、安心して利用できる店となっている。犬山総合病院の医師による身近な話題の講演会は3回開催され、家族にも喜ばれている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	運営推進会議は2か月毎に開催している。利用者の様子や状況、行事予定、事故報告等を行い、フロアの実態や雰囲気も感じてもらっている。毎回、家族に案内を出し出欠を確認している。会議は避難訓練や講演会、クリスマスコンサートといった行事とともに実施し、参加率も向上し事業所取組みへの理解へ繋がっている。出された意見は検討しサービスの向上に繋げている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	市長寿課の担当者とは、事業所の状況や実態を伝えながら、協力関係を構築している。地域包括支援センター職員に身体拘束や虐待の講演会を依頼し、職員の資質向上と連携強化が図られている。年4回受け入れている介護相談員に利用者との会話を通じて日常の様子をみてもらい、利用者の気持ちの理解や外部からの意見を参考にしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	家族の面会時、運営推進会議、家族会、介護計画作成時等に要望や意見の聞き取りに努め、出された事柄に対し職員間で共有し話し合い、改善に努めている。また、家族会は参加率もよく、家族同志の交流の場としても大きな役割を果たしている。毎月発行のホーム便りは、利用者の日々の様子がわかる多くの写真を掲載し、フロア毎、或るいは全体で作成しており家族にも好評価を得ている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。